

石壁を見れば恐竜が!

～白山市の遺跡と化石～



明光小学校六年

竹田伊吹

調べたき、かけ。



「化石」と聞くと「自分とは関りのない古い存在」とぼくは思っていた。

しかし、化石は発掘されていないだけで、今だに土の中にうまっている物がたくさんあることを本で知りました。

つまり今、住居の上で暮らしている可能性もあるのです。

そこで、ぼくは白山市の化石について調べることにしました。まずは、ぼくの住んでいる白山市にどれだけの発掘現場があるのか調べました。

たくさんあるぞ！ 白山市の発掘現場！



旧松任市

- 乾遺跡(縄文時代)
- 相川新遺跡(弥生時代)
- 野本遺跡(弥生時代)
- 橋爪遺跡(弥生時代)
- 橋爪ガンシアナ遺跡(奈良平安時代)
- 橋爪新A遺跡(奈良平安時代)
- 幸明あともる田遺跡(奈良平安時代)
- 剣崎遺跡(奈良平安時代)
- 剣崎遺跡(鎌倉室町時代)
- 米光萬福寺遺跡(鎌倉室町)
- 橋爪B遺跡(奈良平安鎌倉室町)
- 乾遺跡(江戸時代)

旧鶴来町

- 実養寺遺跡(奈良平安)
- 月橋遺跡(鎌倉室町)

北安田町

- 高見遺跡(弥生~室町)

白山市

ぼくはここで発掘しました。

桑島化石壁
ライン博士が白山の湯の道に新種植物採集した場所

旧鳥越村

- 鳥越城跡

旧尾口村

- 御所の館縄文遺跡
- 尾津遺跡(縄文時代)

感想

この中に歴史をくっがえすような物があるかもしれないと考えるとワクワクする

ぼくも発掘をしました



①遺跡は田んぼや畑などの下にあるのでパワーショベルを使って表土を掘り下げます。

②ジョレンという道具で遺跡が見えるまで土を削っていきます。

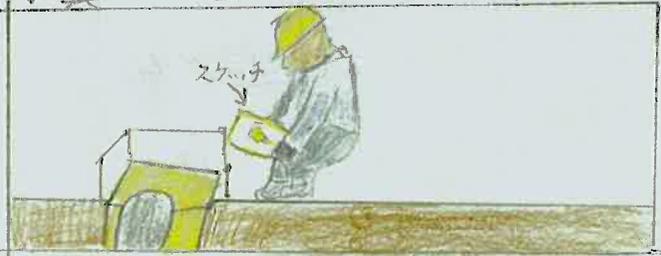


昔のほった土は色や質がちがう。意外と土はわりやすい。

③土の色、質がちがう部分をゆっくりと掘り下げていくと溝や柱の穴が見えてきます。



④掘り上がった土を写真や図面をとり、記録する。



簡単に書いて時間をかけない。

高見遺跡について



ぼくも発掘に参加した高見遺跡は主に土器の出土する遺跡です。

ぼくが発掘したのも土器か石器でした。遺跡は二層に分かれていて、下の層は弥生時代で土杭や竪穴建物が見られて、上の層は室町時代の屋敷の跡がある。

中世陶器のかけら

土器 (はじき)

石
かりをする時 網などを回収する時に使う



感想

高見遺跡には炭など人の生きていた証が多くあった。

弥生時代の人々は工夫して生きていた。な

化石がとれる所 桑島化石壁



自山市で化石がとれる代表的な所は桑島化石壁です。



桑島化石壁は昔、珪化木があつたので国の天然記念物にされていきました。

桑島化石壁には、ほ乳類、は虫類、恐竜、翼竜などの色々な生き物の化石が見られて世界的に貴重で日本だけでなく、世界の科学者達からも注目されています。

明治7年にライン博士というドイツの人が日本で初めての植物化石を採取して、木の幹や根が生えていたまゝの状態の化石になって残っている。日本が一番古い場所として、国の天然記念物になっている。

桑島化石壁の生き物



桑島化石壁の化石の生き物をまとめました。

ほ乳類	は虫類	魚	恐竜	植物
ハクサドドン アルカウス (25cm)	クワジマラ (25~30cm)	テトリイワサ (20cm)	オウラプトル (?cm)	ギンコイジウム (8cm) ナトホルステイ (8cm)
ハクサノバートル (10~15cm)	カガナイアス (40~50cm)		イゲアドン (?cm)	ポドカルプス ライニイ (5~6cm)
テドリバートル (10~15cm)	カガエニス (150mm)		アルバロフォ サウルス ヤマケチオロウ ム (?cm)	ポドサミテ スラセオラ トス (5~6cm)
トリテイロドン (?cm)	ハクサン エニス (150mm)	テトリイワサ 	オオアラシ リュウ (?cm)	オニキオプス (10cm)
ハクサドドン 	ドリゴサウルス (176cm)		カガリュウ (?cm)	ニルソニア ポネシス (2cm)
クワジマラ 	クワジマラ 		ティラノサウル ス類 (?cm)	ディクチオザミ ーテスカワサキ (?cm) タチシノブクマ (0.5cm)
テドリバートル 			アルバロフォ 	ニッポンニル ソニシ (2cm) テカタカロキ イキョウ (5cm)

貴重な貝類の新種化石も桑島化石壁で発掘されて
います。

2010年12月31日に発表された新種は3種
で有肺種というグループで鰓ではなく肺で呼吸を
します。

●1名前 ザプティチウス クワジマエンス

分類 オカミミガイ類

(スケールは1mm)

名前の意味は「桑島の多くのひだを
もつもの」で貝の縦肋が多いのが由来。
今、ザプティチウス属は絶滅してい
て、今のオカミミガイ類と近い種と
されています。



●3名前 テトリポパ コスタータ

分類 サナギガイ類

(スケールは1mm)

名前の意味は「肋のある手取のサナ
ギ」でその名の通り貝に肋がありま
す。
サナギガイ類で世界最古の化石で
す。



●4名前 ウニオの一種

分類 オカミゴウエンスに近しい種

(スケールは10mm)

世界の湖や河川で見られる種です。
岩石の中でよく見られます。



●2名前 アプレクサ カセキカベ

分類 サカマキガイ類

(スケールは1mm)

名前の意味は「化石壁の網状ではないもの」
で、サカマキガイの特長の網状が不確
かなのが由来。
今、この種は川が汚れているかを見る
ために使用している。



●5名前 ビバルス オノゴエンス

分類 タニシ類

(スケールは10mm)

水底の泥の上を這い回り、つもっ
ている物を食べる。
今のタニシと同じ繁殖様式かさだが
ではない。
見つけやすい化石の一つ



名前 マイクロメラニア カトウエンシス

分類: ミズツボ類
(スケールは1mm)

ミズツボ類の巻貝プロバイカリア類に近く、今は世界中の淡水域にすんでいる。



名前: ジラウラスの一種

分類: ヒラマガイ類
(スケールは1mm)

今は世界中の淡水域にすんでいるイシガイ・タニシと共に産出している。



名前: シュードアリニアワンエンシス

分類: オカクナキレガイ類
(スケールは1mm)

からがらすくて小さい。シュードアリニアは「偽のゴマガイ」の意味をもつ



桑島化石壁を調べてあか、たこと

自分の市にも、世界的に注目されていて、国の天然記念物に指定されたものがあった。貝や動物の新種が数多く見つかり、いてそこから昔の世界をすることができる。



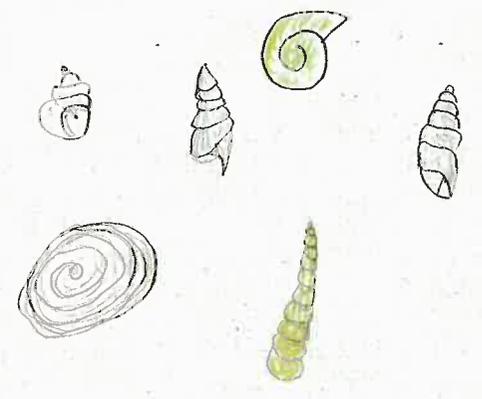
感想

今まで有名な発掘現場と言われると吉野ヶ里遺跡などの教科書にのっているものぐらいしか思わなかったが、と近くに世界的に注目されている遺跡があった。

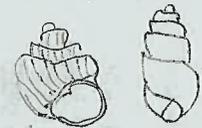


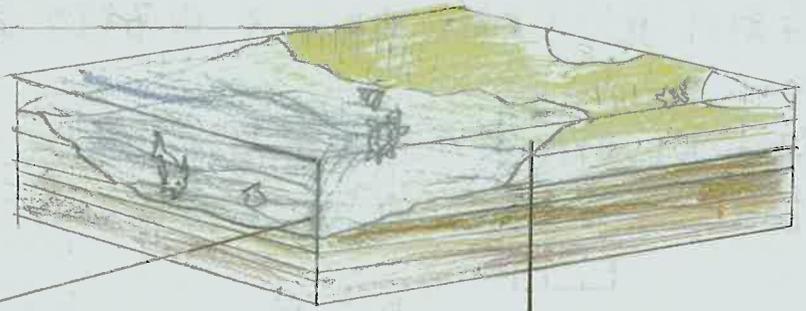
ぎもん

色々な見を調べたがどこにすんでいるのだろうか？調べてみたくなった。

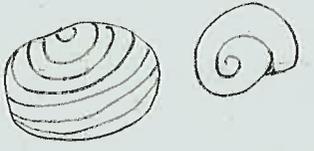


今まで紹介した貝はすべてが同じ所にいたわけではなく、色々な所にすんでいました。

- 陸上にすむ貝 
- ・テトリプパ コスタータ
 - ・シュードアリエア ワンインエンシス



- | | |
|-----------|----------------|
| 湖の深い所にすむ貝 | 湖の浅い所にすむ貝 |
| ・ビビパルス | ・マイクロメラニア カトウシ |
| ・オリゴ エンシス | ・サプティチウス クワジマ |
| ・ウニオの一種 | ・エンシス |
| ・ジラウマスの一種 | ・アプレクサ カセキカベ |



これは、ぼくが大桑層の近くで採取した見の化石が入った土です。中には巻貝や小型の二枚貝や大型の二枚貝が

入っています。土は少し粘土みたいな感じですが、化石はとてここおれやすく、少しでも力を入れればおれちゃいます。



二枚貝は小型だと二枚がかさなっていることが多いけど、大型になると一枚がありませんでした。

 **感想**

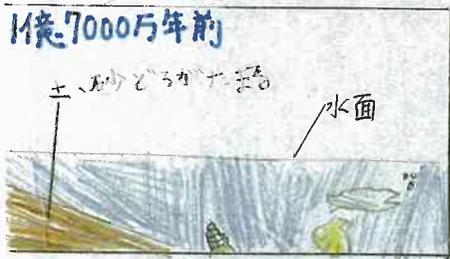
白山市の外村にも化石がとて多くとれる場所があった。

ぼくでも発掘できるということは化石は身近な存在なんだな。

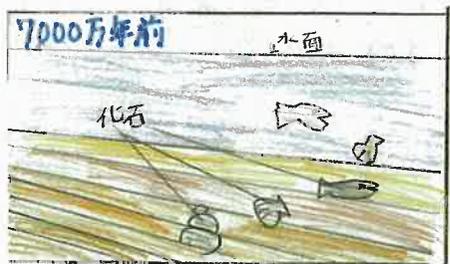
どうして白山市には化石が多いのかな？



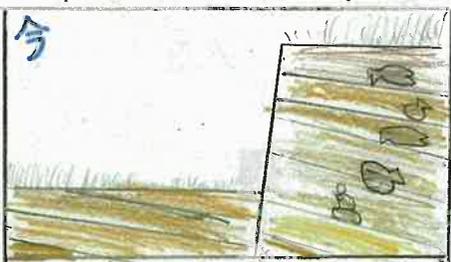
白山市に化石が多い理由は昔の地形にあった。昔、日本海はなく、ユーラシア大陸と日本はつながっていた。白山市のあたりは大陸の緑地帯にあり、そこを流れていた河川でも。たどりや砂が地層となりそこでうまれた物が化石となった。



河川で流されてつまた砂、どろで生き物がうまる。



うまれた生き物が化石となる



水面が地上になり発掘される
地んで地面がたつて地層がなる

手取層群

桑島化石壁からは、中生代の植物化石や動物化石を産出します。

北陸地方にはこれと同じような地層が幅広く分布し、手取層群と呼んでいます。地層の名称は手取とつけられているのは、この地層の研究が最初に手取川流域で始められ、その名称が使われたためです。

手取層群は古い時代の九頭竜亜層群と新しい時代の石徹白・赤石亜層群の二つに分けられている。

桑島化石壁

勝山市北谷町

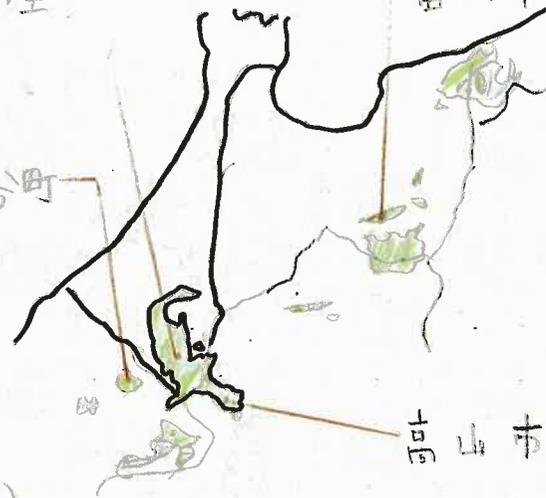
富山市

高山市荘川町

石徹白・赤石亜層群 } 手取層群
九頭竜亜層群

● 主な恐竜化石産出地

0 30km





感想

昔の地形が緑辺部で河川だったなど、白山市はしても化石がびまのりに遺している。

桑島化石壁のような化石の集まった所ががけのようにおきだしになたことが希跡のようだった。

全体のまとめ



ぼくは最初に、化石はしても遠い無緑の存在と聞いていた。

しかし、調べていくうちに自分の住んでいる町がどえだけ、遺跡や化石との関わりが深いかが分かり、とても身近に感じられました。

ぼくの採取した貝の化石もそうであっただけで貝の化石は地層の一部だけに群れのように集まっていた。

これはこの地層が地面だった時に貝が大はんしょくしたことを表しているらしい。

ぼくはそれをきいて、「ということは、もう

少し上の層には、それを食べて大はんしょくした鳥の化石があるのかな？」と思った。

もしかしたら、地層の中でも食物連鎖があるかもしれない。

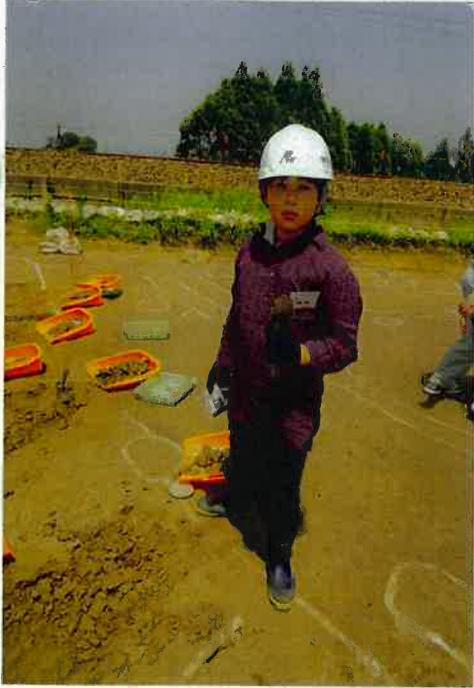
それを考えると、地層の中ではいろんなことがおきていると思います。そう考えただけでなくあくします。

地層は地しんにより地上に出てくるのだが、白山は火山なのでその関係についてもまた調べたい。

白山に来たら、せむがけを見てもらいたい、そこには恐竜がらあっているかもしれない。



資料



発掘をする服そう

ヘルメット
長そで
長ズボン
手ぶくろ
長ぐつ

高見遺跡の
発掘の様子



土から出た
土器

土は固そうに見え
がやわらかい

遺物が見えたら
手・竹ボラ・ハケで
手巾  を使、て
ていねいに掘る



昔のはか石
中の字は
中国の文字らしい